

わたしの鍼灸 - 妊活・不妊治療 -

渡邊大祐（熊本針灸小雀齋）

1 わたしの鍼灸の特徴

1) 治療理論

弁病（症）論治と弁証論治を軸に、随症配穴、症状に対して行う、を行う現代中医学の標準的な考え方。中国の病院のやり方を

2) 針薬併用

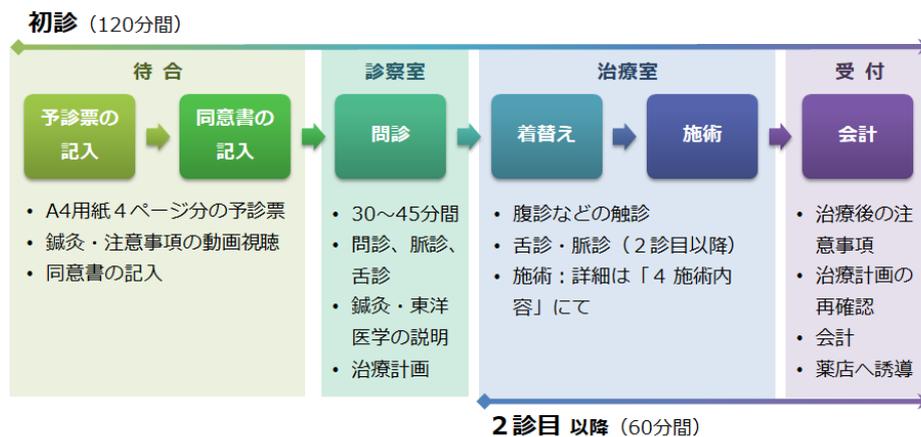
治療効果を高めるために、希望される患者さんには漢方エキス製剤を併せて販売しています。あくまで鍼灸治療を主体とし、鍼灸の効果が現れにくい病証への治療の強化や、次の治療までの期間が長くなってしまう場合の補助などとして運用しています。遠方からの来院の場合なども。中国の病院では漢方薬併用が多いためです。

3) 多選穴刺激分散

中国の中医院で行われている、太めの毫針でしっかり運針して強い得気を出した後に豪快な補瀉法を施すような刺激の大きい鍼は、国内の多くの患者さん、特に初めて鍼灸を受ける患者さんには受け入れられにくいものです。多くの利用者に受け入れられ、かつ効果を出せる鍼灸を模索した結果、現在は「多選穴刺激分散」の方法を創出して実践しています。

これは、例えば理論的にはある治法の処方箋が6穴で構成できる場合、この処方配穴と類似した効果を持つ腧穴を加え十数穴とし、各穴への刺激を小さくして、全体として目的の刺激量に達するようにする方法です。

2 診察・施術の流れ



3 中医学理論に基づいた不妊治療の考え方

1) 中医学における不妊症の考え方

中医学では不妊症を「不孕(ふよう)」「絶嗣(ぜつし)」などと呼ぶ。

(1) 不妊症の分類

原発性と続発性

① 全不産（原発性不妊症）

出産可能年齢の女性で、2年以上の夫との同居・正常な性生活があり、パートナーの生殖機能は正常で、避妊もしていないが妊娠しない者。

② 断続（続発性不妊症）

妊娠（出産）経験はあるが、避妊もしていないのに2年以上妊娠しない者。

絶対的不妊と相対的不妊

① 絶対的不妊

夫婦の一方に先天的・後天的な生殖器官の解剖生理的是正不能な欠陥があり妊娠が出来ない。

② 相対的不妊

夫婦の一方に妊娠を障害するなんらかの要素があるが、その要素を是正すれば妊娠できる。

(2) 妊娠の機序

「両神（精）相搏、合而成形。」（『靈樞・決氣』）2千年ぐらい前の記載です。

女性は思春期の發育以降、閉経期までの期間に、特殊な病變がなく、男女性交により双方の精が結合することで胎が形成される。ただし、胎の形成には男女双方に一定の条件を備える必要があるとされる。

(3) 妊娠の前提条件

「女子二七而天癸至、任脈通、太衝脈盛、月事以時下、故有子。」（『素問・上古天真論』）

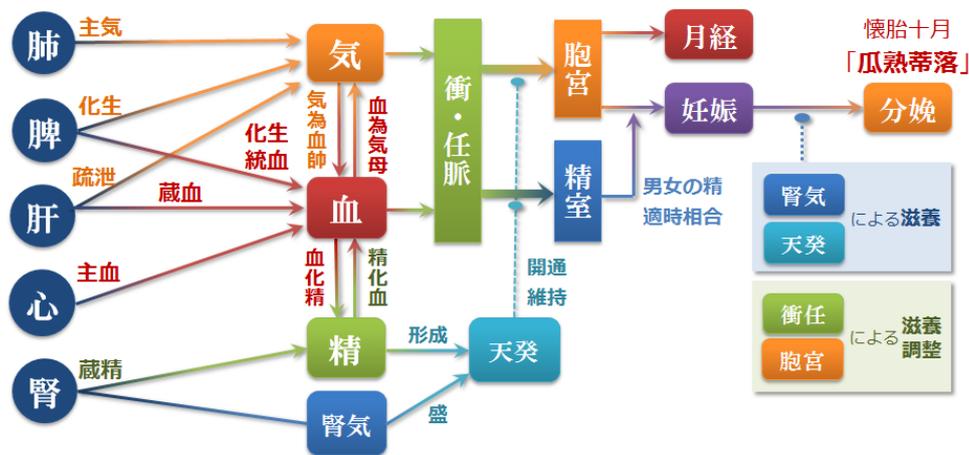
「男子二八、腎氣盛、天癸至、精氣溢瀉、陰陽合、故有子。」（『素問・上古天真論』）

成熟發育後、女性は定期的に来潮し、男性は精氣溢瀉し生殖機能を有するようになる。

「男精壯而女經調、有子之道也。」（『女科正宗・広嗣総論』）

男精壯には、正常な精液と正常な性機能の意味が込められており、女經調には、正常な月経と排卵の意味が含まれている。

一般的に女性は21～35歳が生育能力の旺盛な時期とされており、この佳期に陰陽が和合すれば妊娠しやすい。男女の精が妙合して胎を形成すると、腎氣・天癸・衝任・胞宮の滋養と調整のもと、徐々に發育成長する。十ヶ月が経過すると「瓜熟蒂落」、分娩となる。



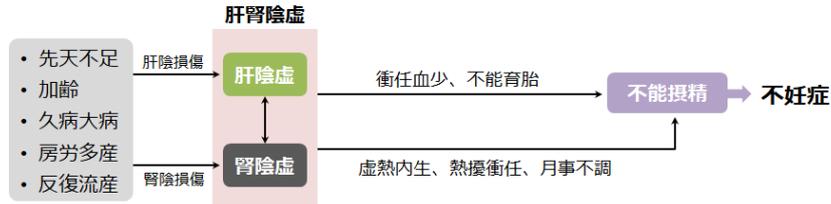
妊娠の機序



妊娠機序の要点

2) 代表的な不妊症の病証と病因病機 いろいろ病証はありますが 今回は4つに絞ります。

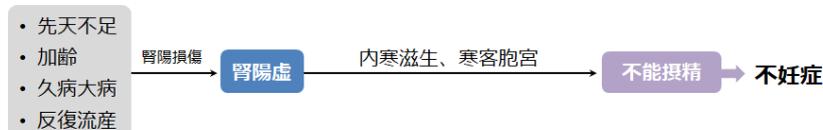
(1) 肝腎陰虚証



[症状・所見]

月経先期、経期延長、淋瀝漏下、月経量少、色鮮紅、形体消瘦、腰膝酸軟、頭暈、耳鳴、五心煩熱、失眠多夢。舌質偏紅、苔少、脈細または細数

(2) 腎陽虚証



[症状・所見]

月経後期、月経量少色暗、または閉経、3か月以上 月経がこなくなってしまう状態
帯下量多で稀薄、性欲低下、小腹冷、四末不温、頭暈、耳鳴、腰膝冷痛、小便清長、面色晦暗。舌淡、脈沈遅。

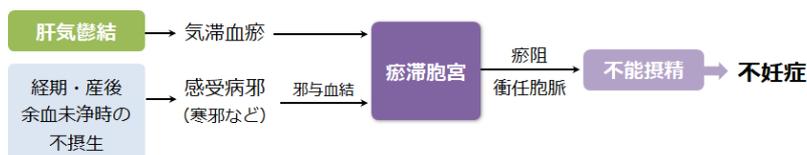
(3) 痰湿内阻証



[症状・所見]

経遅または閉経、帯下量多・色白・質粘・無味、形体肥胖、面目虚浮または晄白、心悸、頭暈、胸悶。舌淡胖、苔白膩、脈滑

(4) 瘀滯胞宮証



[症状・所見]

月経後期、量少・色紫黒・有塊、経行腹痛拒按。舌質紫暗または舌辺有瘀点、脈弦澁

4 施術内容とエビデンス

1) 不妊治療の基本配穴

	部位	所属経脈	意義	備考
百会	頭部	GV	安神定志「凡刺之眞、必先治神」	GV・BL 交会穴
神庭		GV		GV・BL・ST 交会穴
足三里	下腿部	ST	健脾和胃	合穴、胃下合穴
公孫		SP		絡穴、八総穴（衝脈）
三陰交		SP		健脾和胃・調理肝脾腎
陰交	下腹部	CV	調理衝任・調補肝脾腎・通胞脈	CV・衝脈・KI 交会穴
関元		CV		小腸募穴、CV・SP・KI・LR 交会穴
中極		CV		膀胱募穴、CV・SP・KI・LR 交会穴
気穴		KI		KI・衝脈 交会穴
子宮		EX		調經種子 種子は子供を作る意味

基本配穴の部分 5分ほど欠落 内容をテキストで送る

2) 随証加減

(1) 肝腎陰虚証

- 基本配穴：鍼による補法が中心
- 太溪・照海・腎兪・肝兪など：鍼による補法

(2) 腎陽虚証

- 基本配穴：鍼による補法が中心、下腹部穴には灸補法を加える
- 太溪・復溜・命門・腎兪など：鍼または灸による補法

(3) 痰湿内阻証

- 基本配穴：鍼による平補平瀉法・瀉法が中心
- 陰陵泉・豊隆など：鍼による瀉法

(4) 瘀滞胞宮証

- 基本配穴：鍼による平補平瀉法・瀉法が中心
- 太衝・合谷・血海・归来など：鍼による瀉法

3) 月経周期による加減

- (1) 月経期 [活血化瘀]：加 归来・地機など：鍼による瀉法
- (2) 卵泡期 [養血]：加 膈兪・血海など：鍼による補法
- (3) 排卵期 [益気固摺]：加 気海・脾兪（・归来）など：鍼による補法
- (4) 黄体期 [益気固摺・養血育胎]：加 気海・归来・膈兪・脾兪など：鍼による補法
- (5) 月経期の直前 [疏肝理気]：加 合谷・太衝・期門など：鍼による瀉法

4) 来院時施術以外の方策

(1) 漢方薬の併用

- 併設薬店にて漢方薬を販売（任意）
- 体質改善や不妊治療のサポートとして

(2) セルフ灸の併用

- 毎日2～3穴へ台座灸を指導（任意）
- 体質改善や不妊治療のサポートとして

5) 胚移植前後の施術

胚移植の前後に2～3回実施する。

[配穴]

- 移植前：内関・地機・太衝・百会・归来
- 移植後：足三里・三陰交・血海・合谷、耳鍼（子宮・神門・皮質下・内分泌）

[刺法]

- 捻転手技を行い得気後、置鍼する。
- 10分後、捻転手技を施し、再度置鍼する。
- 15分後、捻転手技を施してから抜鍼する。

* Acupuncture performed around the time of embryo transfer: a systematic review and meta-analysis. , Caroline A. Smith, Mike Armour, Zewdneh Shewamene, Hsiewe Ying Tan, Robert J. Norman, Neil P. Johnson, Reproductive BioMedicine Online 38 (3) p364-379, 2019

参考文献

- [1] 李翼主編：全国高等中医薬院校針灸專業創新材 中医婦人科学. 中国中医薬出版社, 2009
- [2] 石学敏主編：普通高等教育“十一五”国家級規画教材 中医内科学. 中国中医薬出版社, 2009
- [3] 張伯礼主編：衛生部“十二五”規画教材 中医内科学. 人民衛生出版社, 2012
- [4] 李翼主編：全国中医薬行業高等教育“十三五”規画教材 方剂学. 中国中医薬出版社, 2017
- [5] 鍾章生主編：全国中医薬行業高等教育“十三五”規画教材 中薬学. 中国中医薬出版社, 2017
- [6] 菅沼栄著：いかに弁証論治するか「疾患別」漢方エキス製剤の運用. 東洋学術出版社, 2010
- [7] 郭義主編：針灸処方学. 中国中医薬出版社, 2018
- [8] WHO 西太平洋地域事務局：WHO/WPRO 標準経穴部位日本語公式版. 医道の日本社, 2009
- [9] 東洋療法学校協会編：新版経絡経穴概論. 医道の日本社, 2013